

栄えある春の叙勲「瑞宝双光章」を受章して

鹿児島県臨床検査技師会 会長 有村 義輝

鹿児島市医師会の先生方におかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

また、日頃から鹿児島県臨床検査技師会の運営に際しまして、心温かいご理解とご支援を賜り心から感謝申し上げます。

今回は、私事で申し訳ございませんが、令和4年度の春の叙勲にて「瑞宝双光章」受章する事が出来ましたことを御報告させて頂きます。

私は昭和54年に鹿児島市医師会に入職し、市医師会検査センター及び鹿児島市医師会病院で42年間検査業務に従事し現在、姶良市の大井病院にて診療技術部顧問の立場で医療従事者皆様方の相談役として働いております。そして、鹿臨技の役員として、検査の精度管理において県医師会、鹿児島市の精度管理委員として現在も活動中であります。また、血液検査の正常値に関して、全ての医療機関に患者の結果値が同じ尺度で判断するよう共用基準範囲値の周知・導入に日々努力をしております。

1) 地域医療について

血液細胞形態検査において鹿児島県の血液班長として血液細胞の判定に携わりました。さらに昨今の新型コロナ検査（PCR検査）等がひっ迫した状態になった時に検査対応支援することを目的に、技師会では新型コロナウイルス感染症検査等サポートチームを立ち上げ日曜日・祝日の当番医の診療業務支援を行い現在も展開中であります。

2) 県民の健康増進について

公益事業の「市民健康まつり」や「検査と健康展」を実施し、さらに臨床医による健康相談および臨床検査技師による結果説明でも県民から高い評価を頂いております。

3) 技師会活動について

鹿児島県の技師会会長就任以来7期14年、

役員として医療社会が要求する検査技師育成に専念。最新のがんゲノム遺伝子検査、脳梗塞、心筋梗塞、認知症について自ら講話し後輩技師に医療従事者としての接遇マナーはもちろんのこと、臨床検査技師の立ち位置を指導・育成しております。

4) 医師の働き方改革について

平成30年2月医師の労働時間短縮に向けた緊急的な取り組みが公開されました。このタスク・シフティング医師業務軽減業務の一つである血液検査の結果説明を鹿児島市医師会病院に導入。さらに、厚生労働省提案事項の臨床検査技師へのタスク・シフト/シェアに関する業務8項目が令和3年度10月1日から施行されましたので、当会も今年10月に講習会開催に向けて準備中であります。

以上が私の臨床検査技師としての保健衛生の活動であり、皆様と共に積み上げてきた業績が叙勲受章となったものと思います。

これからも天皇陛下から賜ったお言葉を胸に、社会へのご恩返しのために些かなりとも努力を続ける所存です。

改めて叙勲という栄誉ある賞を受章する事が出来ました事、これもひとえに鹿児島市医師会の先生方様のご指導とご支援の賜と深く感謝申し上げると共に、この上ない光栄に存じ、心からお礼を申し上げます。

結びに鹿臨技といたしましては、鹿児島市医師会の先生方の診療支援チームの医療職の一員として、しっかりと職責を果たせる臨床検査技師育成の土台となり牽引となるような活動を行う所存であります。今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。